



とっとりキャンパスライフ 2018

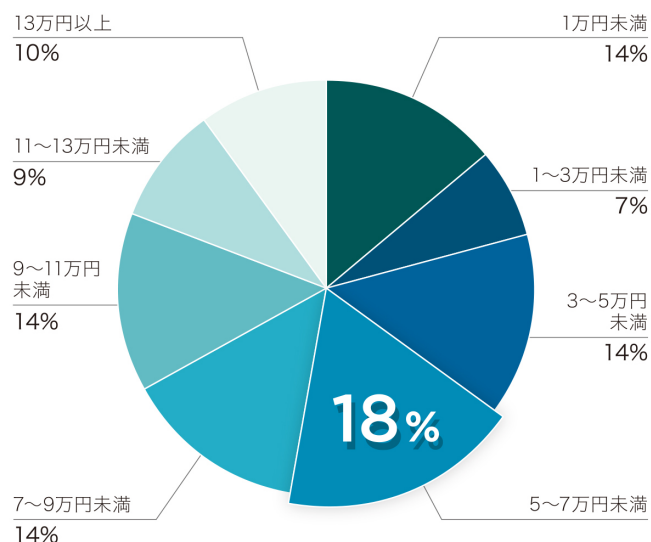
平成30年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

ダイジェスト版

01

1ヶ月の平均収入

学部全体



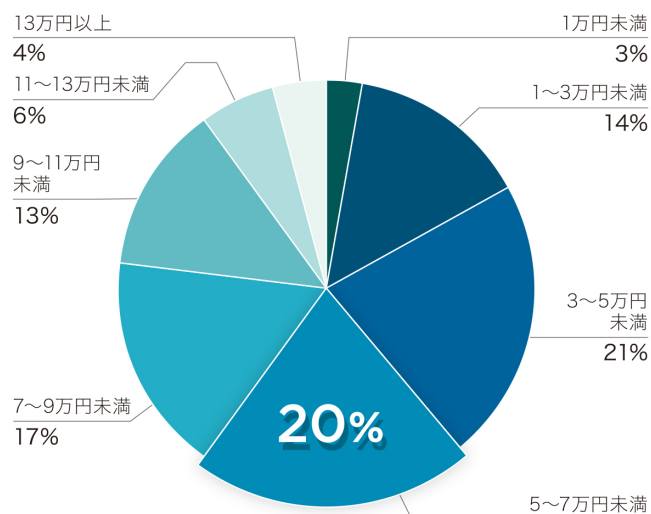
comment

1ヶ月の平均収入について、一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると「5~7万円」でした。これは、直近10年間の調査と比較しても、特に分布には大きな差が見られませんでした。

02

1ヶ月の平均支出

学部全体



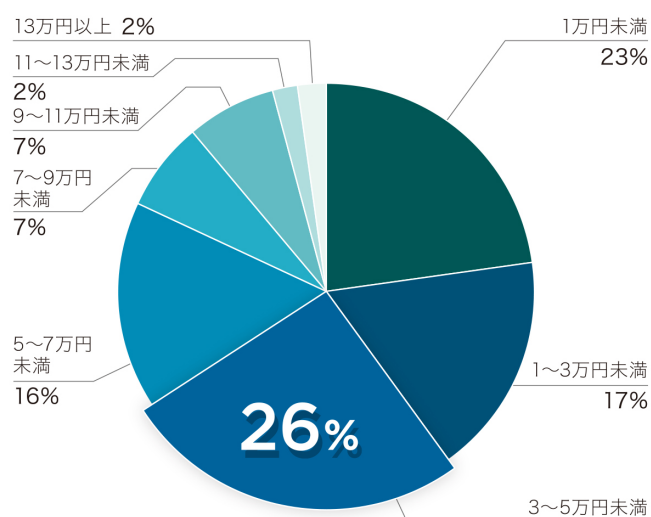
comment

1ヶ月の支出について、収入と同じような金額の分布をしていました。これも、直近10年間の調査と比較して大きな差異は見られませんでした。

03

1ヶ月の家族等からの小遣いや仕送り

学部全体



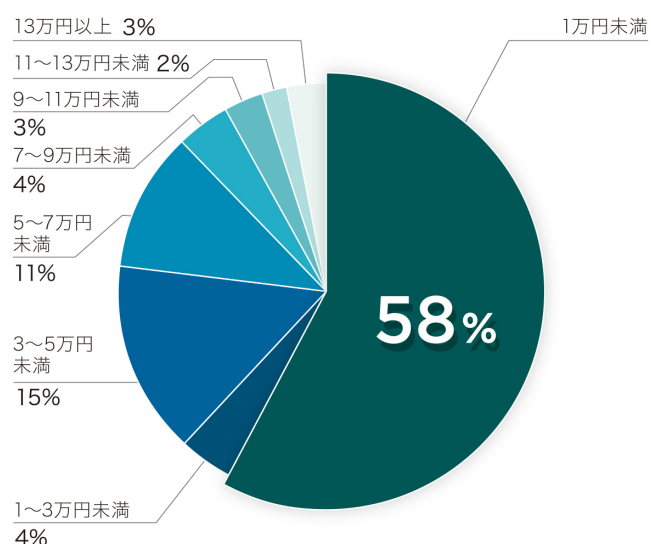
comment

1ヶ月の家族等からの小遣いや仕送りは、「3~5万円」が26%ともっとも多くなっています。また、直近10年間の調査と比較して、特に分布には大きな差が見られませんでした。

04

1ヶ月の奨学金

学部全体



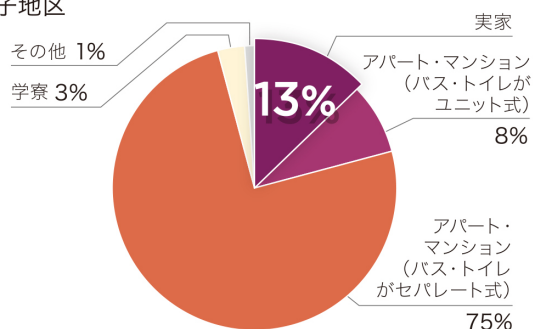
comment

1ヶ月に「1万円未満」とほとんど奨学金を利用していない学生の割合は58%でした。一方、「9万円以上」の比較的高額の奨学金を受けている割合は8%でした。

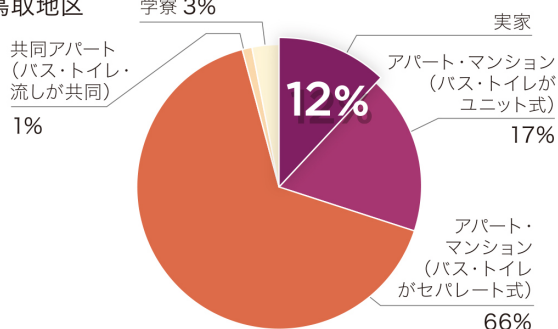
01

住居の種別

米子地区



鳥取地区



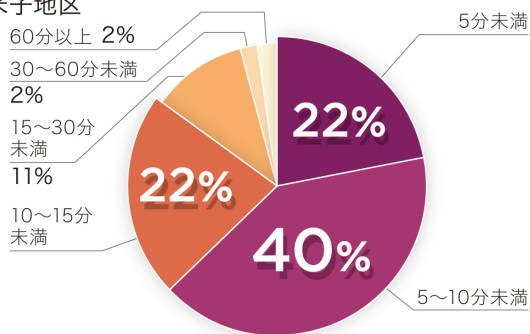
comment

学生の83%が鳥取県外出身であるため、実家の者は1割程度しかいません。また、2/3～3/4の学生が「セパレートタイプ」に住んでおり、「ユニットタイプ」、「共同アパート」には10～20%と少ない状況です。

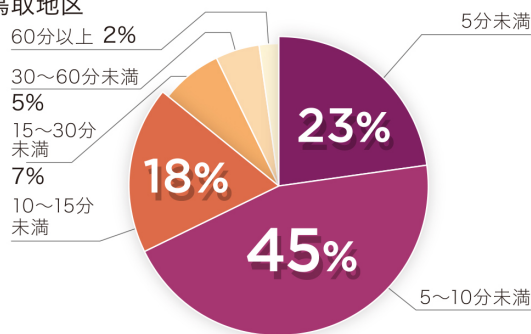
02

通学時間(片道)

米子地区



鳥取地区



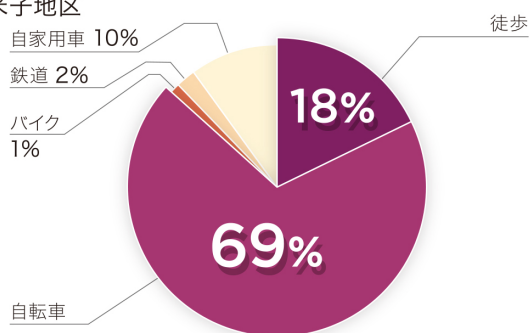
comment

「15分未満」が全体の85%程度です。実家の学生が1割程度であることを考慮すると、ほとんどのひとり暮らしの学生は通学時間15分未満と非常に近いところに住んでいます。このことから大学周辺に豊富な住居があることがわかります。

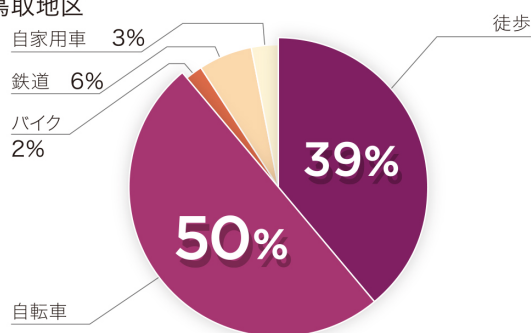
03

通学方法(乗継の場合はもっとも長い区間の手段)

米子地区



鳥取地区



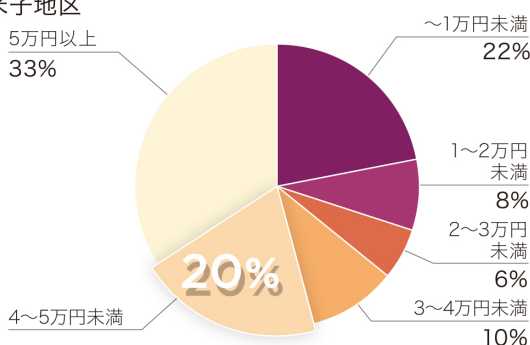
comment

「徒歩」と「自転車」で9割を占めています。米子キャンパスは市街地にあり、キャンパスからやや離れたところに住居が多くあるため「徒歩」が少なくなっていると思われます。

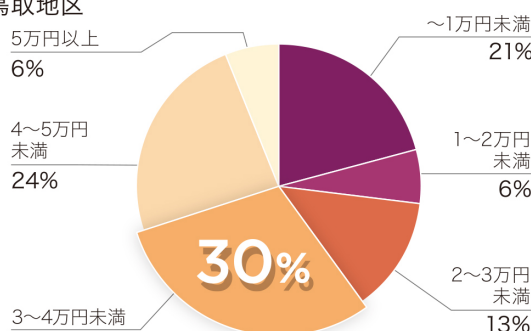
04

1ヶ月の住居費(家賃、光熱水量費含む)

米子地区



鳥取地区



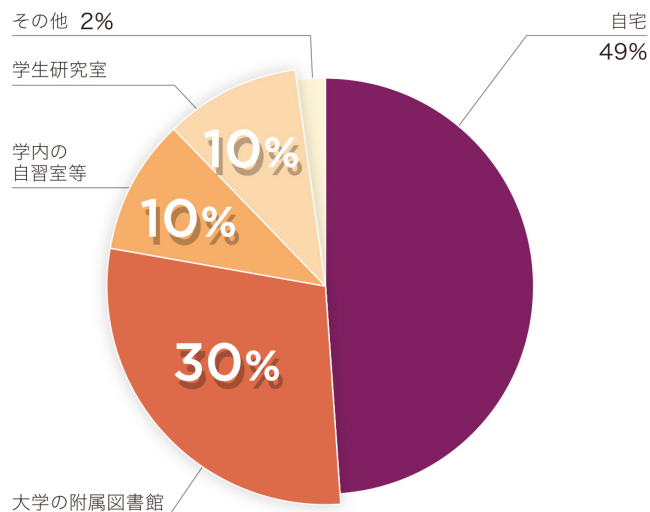
comment

キャンパスと市街地の位置関係により鳥取地区と米子地区で差が出ています。鳥取大学生協の調査では、平成30年度入学者の1ヶ月の住居費は、鳥取地区で35,800円、米子地区で44,100円が平均でした。

05

授業以外で勉強する場所

学部全体



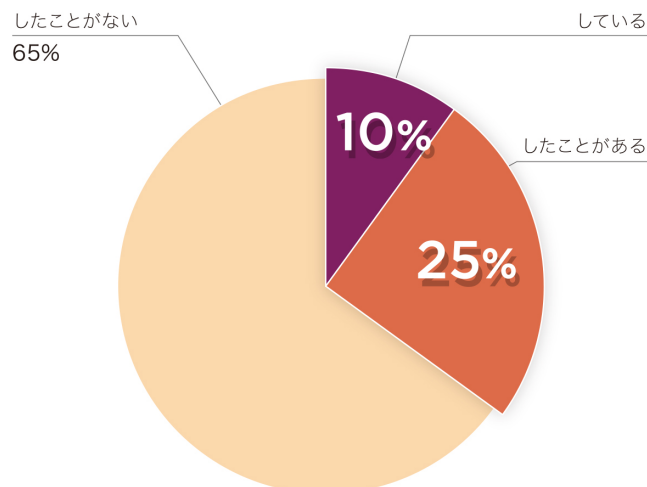
comment

約半数が「自宅」ですが、「大学の附属図書館」が30%、「学内の自習室等」が10%、「学生研究室」が10%でした。大学の附属図書館は平日23時まで開館していますし、学内にも勉強できるスペースを多く設けています。

06

この1年間のボランティア活動参加状況

学部全体



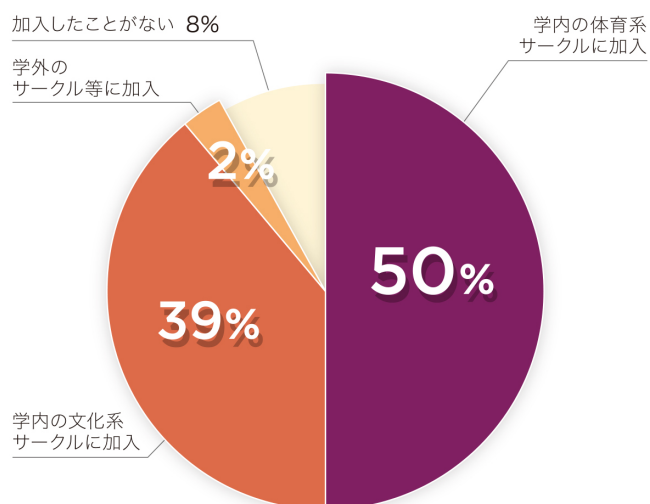
comment

ボランティア活動に関して、「している」と「したことがある」を合わせて35%です。これは、前回と同じく、過去最高の数値となり、ボランティアへの関心が高いまま維持されていることがわかります。

07

部活動・サークルへの加入状況

学部全体



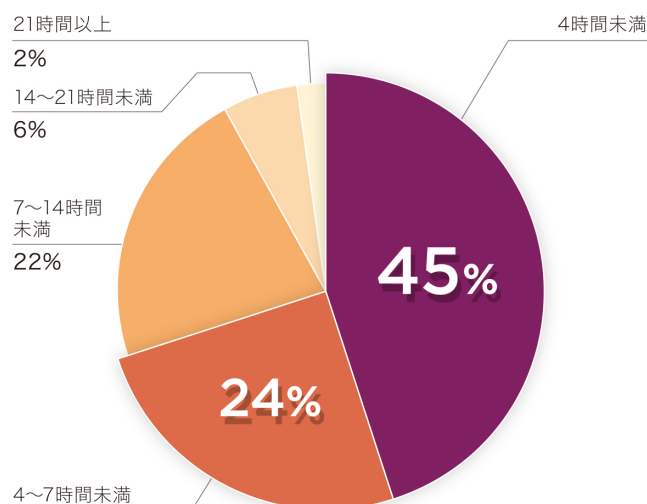
comment

部活動・サークルへの加入率は90%を超えています。この加入率の高さは、住居が大学に近いため通学時間の短く、時間に余裕がある学生が多い本学の特徴と言えます。

08

部活動・サークルの1週間の平均活動時間

学部全体



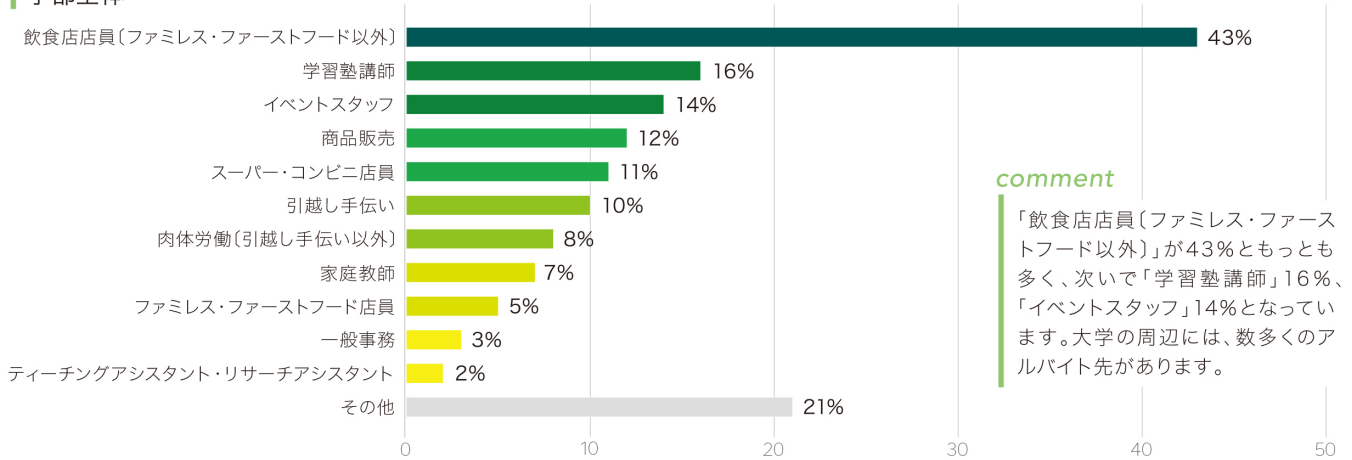
comment

69%の学生が「7時間未満」で1日に1時間未満と活動時間は比較的短いです。そのため、学業との両立もしっかりできていると思われます。

01

アルバイトで経験した主な業種(複数回答) (1年間にアルバイトをした学生)

学部全体



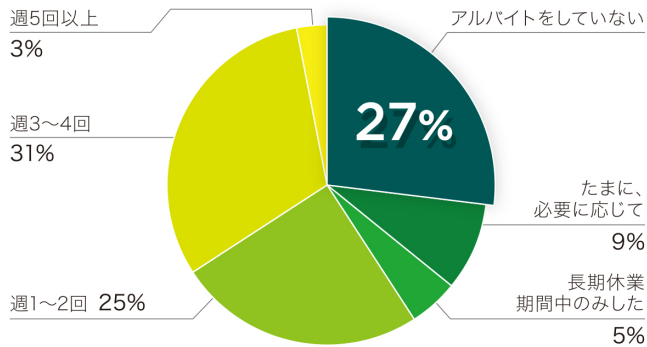
comment

「飲食店店員(ファミレス・ファーストフード以外)」が43%と最も多く、次いで「学習塾講師」16%、「イベントスタッフ」14%となっています。大学の周辺には、数多くのアルバイト先があります。

02

この1年間のアルバイトの頻度

学部全体



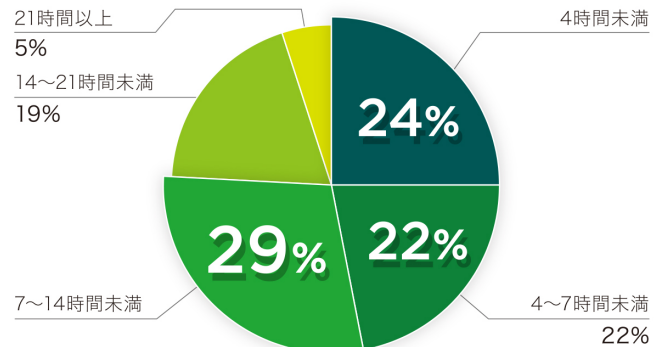
comment

アルバイトをしなかった学生は27%で、多くの学生はアルバイトを経験しています。全体の6割程度の学生が定期的に行っており、「週1~2回」が25%、「週3~4回」が31%でした。

03

1週間の平均アルバイト時間 (1年間にアルバイトをした学生)

学部全体



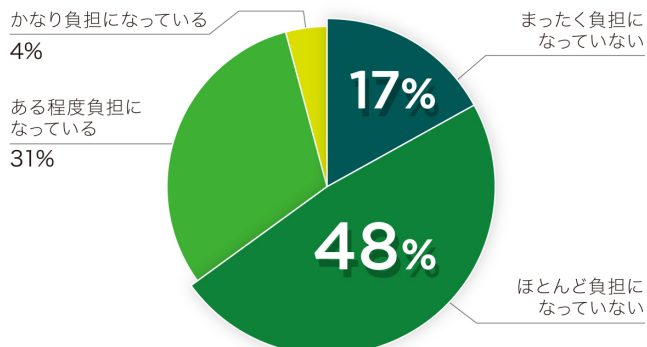
comment

「7時間未満」(1日に1時間未満)が46%とまた、「7~14時間未満」(1日に1時間未満)も21%と多くの学生は、アルバイトの時間はそれほど多くありませんでした。

04

アルバイトによる修学上の負担 (1年間にアルバイトをした学生)

学部全体



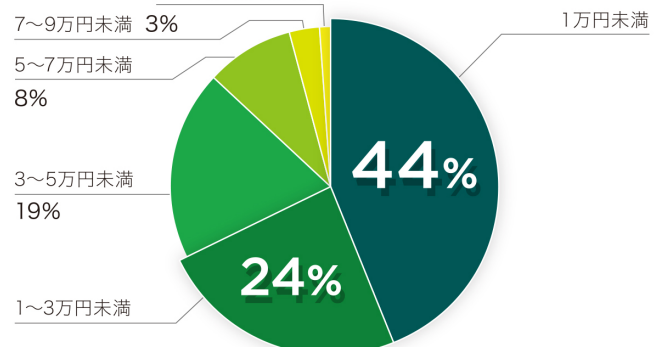
comment

この1年間にアルバイトをした学生のうち、2/3程度は「まったく負担になっていない」、「ほとんど負担になっていない」でした。一方、「負担になっている」学生は、「週3日以上」や「週14時間以上」働いていると思われる。

05

1ヶ月の平均アルバイト収入 (1年間にアルバイトをした学生)

学部全体



comment

この1年間にアルバイトをした学生のうち、2/3程度が「3万円未満」の収入でした。一方、「5万円以上」は10%程度でした。

調査・集計・編集の概要

調査の目的

本調査は、在学生の実態を把握し、本学の学生支援の質の向上に向けた施策の検討並びに修学指導などの基礎資料として活用することを目的とする。

調査期間

平成30年9月12日(水)～10月22日(月)

調査の対象

平成30年9月1日現在に在籍する学部と大学院学生を対象とした。
ただし、休学者、9月1日現在留学中の日本人学生、外国人留学生、連合獣医学研究科及び連合農学研究科他大学配置学生は除いた。

調査の方法

学生生活支援委員会学生生活実態調査専門委員会が、学部等の協力のもとWebシステムにより調査した。

集計の方法

所属、入学年度等の基本項目により、設問毎に統計的にデータの集計を行った。

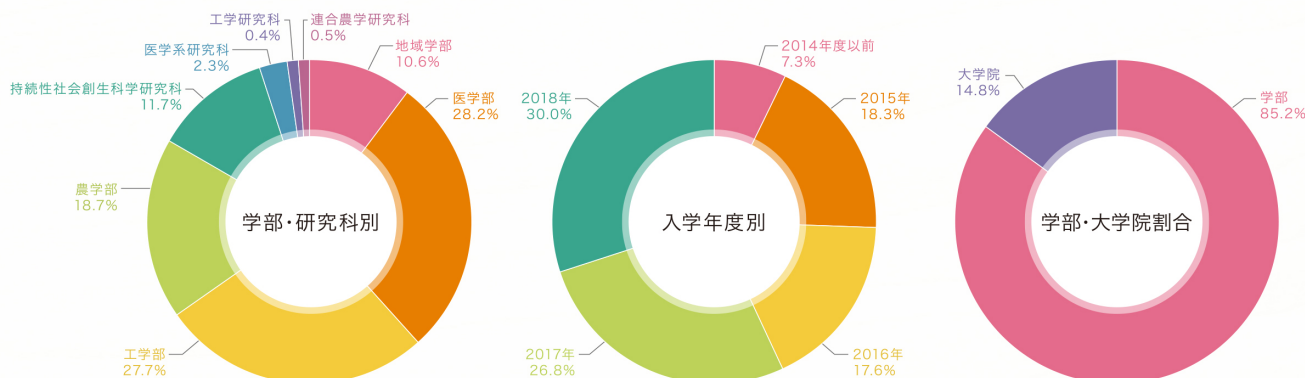
編集の方法

1. 調査データに基づき作成した各種グラフを基本に、学生生活実態調査専門委員会が分析を行った。
2. 構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても100%とならない。
3. 入学年度別データについては、解説の便宜上、「学年」の概念を用いて解説した。
4. 関係者の関心が特に高いと思われる調査項目は「ダイジェスト版」として抜粋し、リーフレットに要約編集した。

調査票の回収状況

学部・研究科	回収率(%)	対象者数(人)
地域学部	36.9	778
医学部	58.5	1,301
工学部	40.0	1,870
農学部	47.5	1,064
持続性社会創生科学研究科	61.5	512
医学系研究科	23.1	264
工学研究科	30.6	36
連合農学研究科	52.0	25
大学全体	46.2	5,850

調査に協力してくれた学生



とっとりキャンパスライフ2018

平成30年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

2019年3月発行

※本報告書利用上の注意／本報告書に掲載されている本学独自の調査データを、引用・転載・コピーして二次利用されることは自由ですが、利用された場合は上記編集委員会（事務担当は発行者欄に記載）宛に利用内容をご報告願います。

発行

鳥取大学学生部学生生活課
〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話

0857-31-5058

編集

鳥取大学学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会